

## 東京大学学生発明コンテスト

第1回東京大学学生発明コンテストの表彰式が3月27日(土)に生産技術研究所で行われ、小宮山宏教授(東京大学副学長)によるご挨拶の後、西尾茂文所長より受賞者に対して各賞に対する表彰状、楯、副賞が贈呈されました。栄誉ある最優秀賞は、放射線検出装置を発明した大学院工学系研究科システム量子工学専攻・博士2年の澁谷憲悟君に授与

されました。

このコンテストは、学生が発明や知的財産権に対する理解を深めることを目的に、生産技術研究所の産学連携委員会(委員長:畑中研一教授)と財団法人生産技術研究奨励会(TLO)の共催で東京大学の学生を対象に行われたものです。新規の企画でしたので応募件数の多寡が予想できませんでしたが、最終的に

は全学から20件もの応募がありました。応募された発明案件は、先行技術の調査結果や新規性を考慮して書類審査を行い10件を本審査の対象としました。本審査は3月13日(土)に行われ、発明者の学生によるプレゼンテーションに対する質疑応答の後、発明の新規性・新鮮さ・着想や工業所有権としての価値などを基準に選考が行われました。平成16年度は「第2回 東京大学学生発明コンテスト」を行いますので、学生の皆さんは奮って応募ください。本コンテストの詳細や応募方法などは、発明コンテストのホームページ(<http://hatsumei.iis.u-tokyo.ac.jp/>)に掲載されていますのでご覧下さい。

(産学連携委員 岡部 徹)

